

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)**1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。** 直ちに全ての原発を廃炉にする。(再稼働し存続)

- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

福島第一原子力発電所事故によって、原発の安全神話は崩壊した。放射性廃棄物の処理は困難であることから、原発に依存しない持続可能な社会を早期に実現させることが大切である。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。 直ちに廃炉にする。

- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
(年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

泊原発沖に活断層が存在するという懸念も指摘されており、道民の生命や健康の被害など過酷な事故も否定できないことから、脱原発社会に向けて再稼働は行うべきではない。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。 直ちに建設を断念すべき。

- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

プルトニウムをフルMOX燃料として使用する大間原発は、世界的にも例がなく危険性が指摘されている。脱原発社会を早期に実現するためには、建設再開を行わず中止すべきである。

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

断固として認められない。

- ・慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

管理期間が数万年以上と言われる放射性廃棄物を後世にわたり安全に保管することは極めて困難であり、負の遺産を将来にわたって残さないためにも計画を中止すべきである。

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いておりますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

知っている。

- ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

一人ひとりが社会に関心を持って行動を起こすことは、市民の当然の権利であり、政治や民主主義を成熟させ、平和で公正な社会を実現させていく上でも重要で必要なことである。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いませんか？

- ・参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)
- ・機会があれば参加したい

考えていない

- ・参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。